

Information 訪問エリアマップについて

当院ウェブサイトトップページに掲載しているエリアマップから、各区の訪問可能なエリアを町名ごとにご確認いただけるマップをダウンロードできるようになりました。横浜市保土ヶ谷区・旭区では全域訪問しております。戸塚区・泉区・南区・港南区・西区・神奈川区については、現在のところ一部地域への訪問になっております。

医療法人社団陽友会
ゆう在宅クリニック

訪問診療のご依頼やご相談はこちら
TEL: 045-489-5554

クリックすると町名ごとのエリアマップが表示されます

詳しくは当院ウェブサイトをご覧ください

ゆう在宅ニュース 2022.9

VOL. 9

発行元: 医療法人社団陽友会
所在地: 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町827-3

在宅療養に携わる皆様にお届けする

ゆう在宅News



2022.9

病院志向の強い患者及び家族に対する在宅医療

いつでもつながる在宅医療を提供する



<WEB勉強会ダイジェスト>

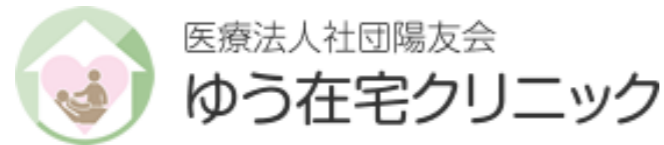
病院志向の強い患者及び家族に対する在宅医療

- ▶ 病院医師として在宅からの紹介で困ること
- ▶ 当院の緊急往診患者への対応
- ▶ 病院の入退院調整で困ること

Pick Up!

詳しくは中面へ

Contact お問い合わせ



電話でのご相談、ご依頼はこちら
ゆう在宅クリニック
在宅医療相談室
TEL. 045-489-5554 (直通)

メールでのお問い合わせ
QRコード
ホームページのメールフォームから問合せできます

※事務連絡等は各院へお願いいたします

ゆう在宅クリニック本院
(神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町827-3)
TEL:045-351-0063
FAX:045-352-2854

ゆう在宅クリニック旭分院
(横浜市旭区二俣川1-67-4 YAMAKI二俣川1階)
TEL:045-489-9001
FAX:045-489-9026

在宅医療の情報は「ゆう在宅クリニック」で検索

ゆう在宅
からの
お知らせ

地域とのかかわりを大切にする

Information

LINE公式アカウントのご案内

勉強会案内、在宅医療の関係資料等、お役立ち情報をお届けしています。



【ご登録はこちらから】



退院前カンファレンス積極参加中

医師や相談員が出席し、在宅療養へのスムーズな移行が行えるようサポートしています。オンライン（ZOOM等）での参加も積極的に行っています。退院前カンファレンス参加のご要望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

WEB勉強会を開催いたしました

日時：6月17日（金） 17:00～17:45

テーマ：病院志向の強い患者及び家族に対する在宅医療

約100名の連携先の皆様にご参加いただき、講義や情報交換を実施いたしました。

6/17にオンライン配信した「第8回在宅医療勉強会」をYouTubeにて公開しています！

「医療介入の要求度合いが高い患者さん」や「病院での治療希望の強い患者さん」への対応について、日本救急医学会救急科専門医であり、過去に病院の在宅医療の経験もある当院の春成医師より、大切なポイントや考え方等を、豊富な事例を交えて病院と在宅両方の視点から解説し、質疑をお受けしました。右ページで勉強会ダイジェストをご紹介します。

当日の動画及び資料は、当院公式LINEアカウント内「ゆう在宅クリニック資料室」にも掲載されています。LINE登録ができない方は、裏面のお問合せ先までお気軽にご連絡ください。



YouTubeで
見逃し配信中！



次回WEB勉強会は10月21日（金）
開催予定です！

TOPICS

【WEB勉強会の誌上ダイジェスト】

病院志向の強い患者及び 家族に対する在宅医療

①在宅から病院受診の際に大切なこと

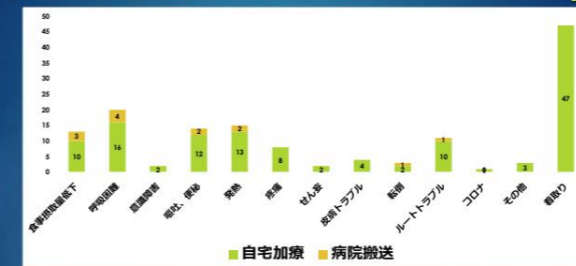
病院医師として在宅からの紹介で困ること

- ▶ 何の目的での紹介されたのかははっきりとしない患者
- ▶ 「入院希望？（ベッドは満床なのに...）」
- ▶ 「訪問診療は行っているのに、在宅では看不れないの？（検査結果は大きな問題なく、入院させられる理由がみつからないよ...）」
- ▶ 「DNARなのに搬送？（こんなおばあちゃんに蘇生行為したらかわいそうだよ...）」

在宅からの紹介で病院医師が困るのは①何の目的で紹介されたのかははっきりとしない患者②今後の方針が決まっていない患者③緊急性が低いのに夜間や週末の紹介といった場合です。訪問診療中の患者を病院受診させるときは、治療につながるかどうか、目的をはっきりさせることが重要です。

②当院緊急往診についての検討

当院緊急往診患者への対応



- ▶ 当院2022年4月の往診患者のまとめ
- ▶ 往診患者143例中、往診後搬送となった患者は13例(9.1%)だった。

当院ではACSCs（プライマリケアの現場で適切にマネジメントすれば不要な入院を避けられる可能性のある状態）の患者は、できる限り在宅で加療するよう努めております。当院で緊急往診後、搬送となった患者は病院での精査加療が必要となるものが多かったです。ACPの実施は、不要な救急搬送を防ぐのに最も重要です。

③まとめ

まとめ

- ▶ 病院受診について、患者・介護者の希望にできる範囲では寄り添う。
- ▶ 病院に行っても在宅以上の医療行為ができない患者は、できる限り訪問診療で対応。
- ▶ 病院受診が治療につながる患者は、目的をはっきりとさせて積極的に病院受診を検討。
- ▶ 病院と在宅の間で患者情報を共有するために、病院-在宅間でふだんから良好な関係を築いておく。

病院受診時は、在宅医療では困難な処置・検査が必要か／入院加療が治療につながるかの判断が重要です。とはいえ患者や家族の希望に寄り添うことや、病院での客観的な検査結果や他医の意見が患者の納得のため必要な場合もあります。病院と在宅の間で、困りごとを含めた情報共有を心掛け、日頃から良好な関係を築いておくことが大切です。